

# 信仰か、マインド・コントロールか

カルト論の構図  
【法蔵館文庫】

櫻井義秀 [著]

文庫判・並製・三八四頁・本体一、一〇〇円＋税

2023年5月刊行



社会はカルトやマインド・コントロールの問題にどのように対処すべきだろうか？ 九〇年代以降のマスメディアの言説や裁判記録などの分析を通じて、これらの問題を考えるための基礎的理論を提示する。

## 【目次】

再版（文庫収録）によせて  
はじめに

### 第I部 カルト論の構図

- 第一章 カルト論の射程
- 第二章 カルト問題におけるフレーミングとナラティブ
- 第三章 カルトと宗教のあいだ

### 第II部 マインドコントロール論争と公共性

- 第四章 マスメディアによるカルト、マインドコントロール概念の構築
- 第五章 「宗教被害」と人権・自己決定
- 第六章 強制的説得と不法行為責任
- 第七章 カルト問題と公共性

引用文献／あとがき／初出一覧

「ドグマの正当性を疑わず、手段を選ばずにそれを他者に強要し、受け入れないものには存在の価値を認めない独善性こそ、公共性の対極にある。

そのような生のあり方をも信教の自由の名の下に認めよと主張することは可能だろうか。自らの決断としてそのような生きることを選択した人達がいるとしたら、それは私たちにとって私たちの生を揺さぶる衝撃的な事実となる。マインド・コントロール概念が提起した問題はここにある。」（本文より）

【著者略歴】一九六一年、山形県出身。北海道大学大学院文学研究科博士課程中退。博士（文学）。現在、北海道大学大学院文学研究科教授。専門は宗教社会学、タイ地域研究、東アジア宗教文化論。著書に『人口減少社会と寺院——ソーシヤル・キャピタルの視座から』（共編、法蔵館、二〇一六年）、『東アジア宗教のかたち——比較宗教社会学への招待』（法蔵館、二〇二二年）、『統一教会——性・カネ・恨から実像に迫る』（中公新書、二〇二三年）、『創価学会——政治宗教の成功と隘路』（共編、法蔵館、二〇二三年）などがある。

注文書	様冊
(書店名)	ご担当
法蔵館	一、一〇〇円＋税
櫻井義秀 [著]	ご住所
信仰か、マインド・コントロールか	お電話
——カルト論の構図【法蔵館文庫】	お名前
ISBN978-4-8318-2647-3 C1115	

ご注文は FAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

宗教